5年後ー
北陸新幹線が敦賀にやってくる！

北陸新幹線の敦賀開業がいよいよ５年後の平成34年度に迫ってきました。今月号は、北陸新幹線の特徴や整備状況などの“今”をお伝えします。

北陸新幹線のあゆみ

北陸新幹線は、１９７３年に整備計画が決定したもので、東京を起点に、上信越・北陸地方を経由して、大阪までを結ぶ計画の新幹線です。１９９７年に東京ー長野間が、２０１５年に長野ー金沢間が開業しました。

福井県内は２０１２年に金沢ー敦賀間の着工が認可され、２０２２年度の敦賀開業に向けて、現在整備が進められています。また、昨年の12月には、敦賀以西の「小浜ー京都ルート」が正式に決定しました。

北陸新幹線の特徴

北陸新幹線は、東京ー大阪間の約７００ｋｍ（現在は金沢まで開業）を最高速度約２６０ｋｍ／ｈで走ります。県内を走る特急サンダーバードの最高時速の約2倍と言われています。

新幹線の車両の空色は沿線に広がる空の青さを、銅色は日本の伝統工芸である銅器や象篏（ぞうがん）の色を、車体のアイボリーホワイトは日本的な気品や落ち着きを表現しています。また、先頭のシンプルな流線型が騒音を抑えるなど環境に配慮された設計になっています。

車両には普通車、グリーン車に加え、飛行機のファーストクラスにあたる「グランクラス」も設けられています。

▲グランクラスの様子。革張りのシートが並び、ゆったりとした空間が広がります。

変わる生活、広がるビジネス

新幹線開業により、首都圏や沿線地域との所要時間が短縮し、仕事での出張、帰省や旅行などが容易になるなど、人々の行動圏域が変わります。また、これまで長時間の移動が必要であった甲信越地方や北関東へのアクセスが各段に良くなることから、観光やビジネスの面で新たな可能性が広がります。

北陸新幹線の経済波及効果

観光やビジネスで敦賀に訪れる客数が増えると消費の押し上げにも影響します。交流人口の増加により、経済波及効果や雇用創出効果などが生まれ地域経済や産業の活性化が期待されています。

◀トンネル先端の掘削現場

▶防水シートで壁面が覆われた工事現場

敦賀に建設の槌音響く

現在、敦賀開業にむけて葉原区では、敦賀と南越前町を結ぶ「新北陸トンネル」の掘削工事が進んでいます。新北陸トンネルの長さは、約20ｋｍ。これは、北陸新幹線では、飯山トンネル（長野県飯山市と新潟県上越市を結ぶ）の次に長いトンネルとなります。幅９・５ｍ、高さ８・５ｍのトンネル内に多くの重機が往来し、１日に約８ｍほど掘り進められています。１月末までのトンネル全体の掘削延長は、約５・８ｋｍで進ちょく率30％となっています。

今後は葉原区にあわせて、越坂区、樫曲区でも工事が進められ、３年後の２０２０年の３月に新北陸トンネル全体の掘削が完了する予定です。

（福井県作成：北陸新幹線パンフレットより）

駅周辺整備に市民の声を

平成34年度の新幹線開業を見据えて、昨年の11月17日に「新幹線整備に係るワークショップ」が開催され、新幹線駅前広場計画やアクセス道路などについて、多くの市民が意見を交わしました。

▲敦賀駅交流施設オルパークで行われたワークショップの様子

ワークショップでは、「新幹線駅前広場には駐車場を充分に確保してほしい」「駅までのアクセス道路は植栽で緑の見える道路が良い」などの意見が出ました。市は、今回のワークショップで出た意見を今後の駅周辺整備に活かしていきます。

北陸新幹線敦賀駅舎のデザインコンセプトが決定！

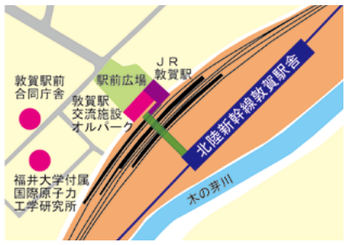
１月17日に、北陸新幹線敦賀駅舎デザインコンセプト決定に伴う伝達式および感謝状授与式が開催されました。デザインコンセプトは駅舎のデザインのベースとなる言葉で、たくさんの応募の中から次のように決まりました。

空にうかぶ
～自然に囲まれ、港を望む駅～

コンセプトのフレーズに採用されたのは、月東若菜さん、月東志太郎くんのきょうだいと川勝紀男さんの３人。新幹線ホームの標高33ｍというインパクトのある駅舎を「空にうかぶ」という表現で強調し、大規模な建築物の威圧感を抑え、周辺との調和のとれた景観となるよう願いが込められています。

▲コンセプト案が採用された川勝さん（左から２番目）、月東若菜さん（前列左）、月東志太郎くん（前列右）

今回決定したデザインコンセプトは、建設主体である鉄道建設・運輸施設整備支援機構に伝達され、来年度中に駅舎の基本デザインが決まる予定です。



▲北陸新幹線敦賀駅舎の位置図（予定）

整備新幹線の建設工事の流れ

地元説明会
地区ごとに新幹線整備事業の説明を行います。

中心線測量
中心杭を設置し、新幹線が走る中心線を確定します。

設計協議
構造物設計
構造物の概略設計を行うとともに必要な用地幅の検討を行います。

用地巾杭設置
用地・補償協議
事業に必要な土地の範囲を明らかにします。用地補償は国の補償基準などに基づいて行います。

工事説明会
工事
工事完成
具体的な工事の進め方について説明を行います。工事が完了すると、走行試験などが実施され開業となります。

問合せ先　新幹線整備課　☎22－8242